

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1学年	2単位	選択必修
担当教員			
神田清子、◎石田和子、高柳智子、樺澤三奈子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 通年	【授業時間】 30時間																		
	【担当教員】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】																
<table> <tr> <td>【氏名】 神田 清子 cn.ac.jp</td> <td>新潟県立看護大学</td> <td>319</td> <td>kkanda@niigata-</td> </tr> <tr> <td>◎石田 和子 cn.ac.jp</td> <td>同上</td> <td>317</td> <td>kazukoi@niigata-</td> </tr> <tr> <td>高柳 智子 cn.ac.jp</td> <td>同上</td> <td>203</td> <td>takatomo@niigata-</td> </tr> <tr> <td>樺澤 三奈子 cn.ac.jp</td> <td>同上</td> <td>318</td> <td>minako-k@niigata-</td> </tr> </table>					【氏名】 神田 清子 cn.ac.jp	新潟県立看護大学	319	kkanda@niigata-	◎石田 和子 cn.ac.jp	同上	317	kazukoi@niigata-	高柳 智子 cn.ac.jp	同上	203	takatomo@niigata-	樺澤 三奈子 cn.ac.jp	同上	318	minako-k@niigata-
【氏名】 神田 清子 cn.ac.jp	新潟県立看護大学	319	kkanda@niigata-																	
◎石田 和子 cn.ac.jp	同上	317	kazukoi@niigata-																	
高柳 智子 cn.ac.jp	同上	203	takatomo@niigata-																	
樺澤 三奈子 cn.ac.jp	同上	318	minako-k@niigata-																	
<table> <tr> <td>【本学の科目区分】 専門科目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					【本学の科目区分】 専門科目															
【本学の科目区分】 専門科目																				
<table> <tr> <td>【D P 1】 ◎</td> <td>【D P 2】 ○</td> <td>【D P 3】 ○</td> <td>【D P 4】 ○</td> <td>【D P 5】 ◎</td> <td>【D P 6】</td> </tr> </table>					【D P 1】 ◎	【D P 2】 ○	【D P 3】 ○	【D P 4】 ○	【D P 5】 ◎	【D P 6】										
【D P 1】 ◎	【D P 2】 ○	【D P 3】 ○	【D P 4】 ○	【D P 5】 ◎	【D P 6】															

到達目標	1. 成人・がん看護学に関する課題と動向について述べることができる。 2. 文献抄読、クリティイークを通して研究の意義、方法について説明できる。 3. 効果的なプログラムの開発と評価方法、尺度開発など様々な研究方法について説明ができる。 4. 成人・がん看護学の課題に関するナラティイブレビューやシステムティックレビューについて説明ができる。 5. 成人・がん看護学分野における看護研究意義について述べることができる。 6. 成人期にある急性・慢性病・がん患者家族のケアニーズの把握やケアシステムの開発、測定用具の開発、看護技術の開発や体系化に関連した研究方法を応用することができる。
------	---

授業概要	成人期にある疾患と共に生きる患者やその家族の適応、セルフマネジメント向上に対する実践的で効果的なプログラムの開発と評価方法、測定尺度の開発、サバイバーを支援する有効なシステム構築、障害を持つ人々に応用できる先行研究に関する理解を深める。 がん看護学では、がん患者の治療選択、療養の場の選択の意思決定、治療に伴う侵襲や副作用に対するセルフケアマネジメント、教育的介入の効果、患者家族への支援ネットワークシステムの構築、終末期のQOLを高める研究に関する研究方法について修得する。 成人看護学においては、疾病により生活の再構築を必要とする人々の早期回復のための看護支援方法、再発予防および再燃予防に向けたセルフマネジメントに関する研究方法を体系的に修得する。
------	---

授業計画	1 - 2	授業内容 授業形態：演習 学修課題：成人・がん看護学に関する課題と動向 学修内容： 1. 課題と動向の明確化 2. 看護政策を含む現状の考察 備考：神田・石田
	3 - 5	授業内容 授業形態：演習 学修課題：研究における課題・関心の明確化 学修内容： 自己の課題探求 ①国内外の文献レビュー ②独創性や位置づけの明確化 備考：神田・石田
	6 - 9	授業内容 授業形態：演習 学修課題：自己の研究課題に関連した文献クリティイーク 学修内容： 文献抄読、クリティイークを通して、研究意義と方法の探究 備考：神田・樺澤
	10 - 13	授業内容 授業形態：演習 学修課題：成人・がん看護学に必要な研究方法 学修内容： 1. 成人・がん看護学の課題に関するナラティイブレビューやシステムティックレビュー

	<p>2. 研究方法についての検討 ①効果的なプログラム開発 ②評価方法 備考：神田・高柳</p> <p>14 - 16 授業内容 授業形態：演習 学修課題：成人・がん看護学に必要な研究方法 学修内容： 2. 研究方法についての検討 尺度開発とその評価 備考：神田・高柳</p> <p>17 - 18 授業内容 授業形態：演習 学修課題：成人・がん看護学研究の展望 学修内容： 研究課題と方向性、看護研究意義の発表 備考：神田・石田</p>
事前・事後学習	適宜指示する。
評価方法、評価基準	【評価方法、評価基準】 資料準備30%、発表内容40%、討論30%
テキスト	適宜提示する。
参考図書・資料等	特に指定しない。
受講、課題、資料配布等のルール	演習内容に応じてディスカッションを行う。
教員からのメッセージ	特になし。
オフィスアワー	在室時は、可能な限り対応する。